

第9回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 令和3年10月6日(水) 14:00~16:00
- 場所 テレビ会議
- 次第
 - 1 開会
 - 2 北区からの報告 王子駅周辺まちづくりの検討状況について
 - 3 議事
 - (1) 基本計画のコンセプトについて
 - (2) 環境性能、耐震性・業務継続性について
 - 4 その他
 - 5 閉会

●会議概要

1 開会

2 北区からの報告 王子駅周辺まちづくりの検討状況について

- 担当部署から、王子駅周辺まちづくりの検討状況について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 具体的にどういう風に道路を設定していくのか、新庁舎とも密接に絡んでくる。
 - ・ 王子駅前のまちづくりの動きが分からないと、新庁舎の検討が難しいという話があった。逆に、王子駅のまちづくりとしても、新庁舎に動いてもらいたい部分もあるのではないかと。
 - ・ 王子駅を改良していく話に加えて、地下鉄も交差している。空中レベルだけではなく、地下から地上を経由する様な人の流れを共有していくため、立体的な整理と言うか、示し方が出て来るといものではないかと。
 - ・ 行政がある種の責任と誘導する覚悟があるということを示すという面があると思う。
是非、周りの民間開発に関してもガイドラインになるようなものを検討していただき、まちづくりの検討会でもお知恵を出していただいて、新庁舎も民間の1つのモデルになってくる様な形になれるのではないかと。

3 議事

(1) 基本計画のコンセプトについて

- 事務局から、基本計画のコンセプトについて説明があった。
- 委員意見等
 - ・ にぎわいについて、行政としてはやりづらいところかもしれないが、地元商業の活性化とか、住民の利便性向上とか、区外から来る方に対してどう対応していくかと言う目的が抜けてしまっている印象を受ける。

目的に立ち戻りながら議論が続くと思う。できれば、子どもや、高齢者や、外国人等をどう考えるかといった観点からも検討を深めてもらいたい。目的にもう少し厚みを持たせないと、議論がしづらくなるフェーズが来るのではないかという印象を受けた。

- ・ 今回、災害時のユニバーサルスペースを確保するとか、駅前からの動線を繋ぐとかのコンセプトはあるだろうが、にぎわいについては、商業も入ってくる可能性があるので、外向きに刺さるものになっていないといけない。これを一緒にしてしまうと混乱を招く。

あくまでも対外的にどういう価値を提供していくかと言うことをちゃんと考えておかないと、何となく地元のためのスペースと言うところで終わってしまうことが多い。

- ・ 駐車場と車の扱いについて、世界では新しいテクノロジーの積極的な導入が相当進んでいる。その辺りの事を加味して、選択肢を多めに持てた方が良いのではないか。折角、長いスパンで考えることができ、時間をかけて建設することが可能なので、最新事情にキャッチアップできるようにしておいた方が良いと思う。
- ・ 設計の段階では、魅力的で面白い提案をしてくる人達と、実務レベルでしっかりやるところがあるから、設計者選定をどうするか分からないが、柔軟性がある対応が取れると多分良いのだろう。
- ・ 新しく、基本構想を書き変えてもいいのではないか。

平成23年度の基本構想策定から随分時間が経っている。当時はこうなっていたということは示したうえで、基本計画においてはこういう形にバージョンアップさせたという風にしてもいいのではないか。そうしないと、大きな時代の変革の中で、齟齬が出てきてしまうのではないか。

基本構想を大事にするのはもちろん分かるが、そこから色々議論して、柔軟に対応していいのではないかと思う。時代の流れが相当早いので、技術革新を上手く取り組めるようなものしておくことは非常に大事だと思う。

- ・ 職員が楽しく、生き活きと働けるような庁舎が良い、そうすれば区民も来たいと思える様になる、そのためにどうするか。旧来型の働き方では、少しも面白くない感じになる。

そういう事が、区民ワークショップの時に出ていたと思うが、その辺りの話が書かれていない。区民に向けて、色々サービスしますという書き方は良いけれども、庁舎なのだから、そこで働く人たちが楽しく、生き活きと過ごせることによって、楽しい庁舎になっていくと思う。そこは忘れてはいけない気がする。

(2) 環境性能、耐震性・業務継続性について

- 事務局から、環境性能、耐震性・業務継続性について説明があった。
- 委員意見等
- ・ 創エネ技術あるいは蓄電の様なテクノロジーは、今後コストも技術も相当、劇的に変わるだろうと思う中で、重油やガソリンを使った大型非常用発電機を使う時代ではなくなってくるのではないか。そういった事例がある訳でもないし、技術が開発されている訳でもないが、何か書いておいた方が良

いのではないか。

- ・ 免震でも、基礎免震、中間層免震、柱頭免震の可能性等、コストとも密接に関わって来る。引き続き、防災の専門家と連携を取りながら、科学的な合理性を担保していただきたい。

4 その他

(1) 次回会議日程について

- 次回会議日程 令和3年11月10日(水)

(2) 国立印刷局王子工場の建替え工事の進捗について

- 事務局から、新庁舎建設予定地である国立印刷局王子工場で、建替え工事の準備として、環境アセスメントの評価書案及び中高層紛争予防条例の住民説明会等が近隣に対して開催されたことの報告があった。

(3) PFIの検討結果について

- 事務局から、庁内での規定に基づき PFI の導入可能性を優先検討し、採用しないことになったことの報告があった。

5 閉会